

デジタルペンビジネス よくあるご質問と回答

2009年7月現在

Q 用紙サイズは、どこまで対応なのでしょう？

A A0まで対応します。

Q アトデジタルペン用の帳票作成に専用ソフトが必要なのでしょうか？

A お客様の帳票デザインとアトパターンを合成し、印刷データを作成するためには、アト提供の専用ソフトおよびパターンライセンスが必要になります。ただし、お客様の帳票デザインを作成する際のソフトは何をお使いいただいてもかまいません。

Q 専用ソフトがあるとすればその価格は？

A 弊社では開発支援ツール Penit Navigator (税抜 98 万円) をご提供しております。詳細は製品情報のページをご覧ください。

Q 帳票を自分で作成するとすれば、最安導入費用はどれくらいになるのでしょうか？

A Penit Navigator をご購入いただくことを前提とした場合、約 100 万円とお考え下さい。

Q 印刷認定取得の具体的な流れについて教えて下さい。

A オフセット印刷認定取得については、e-ラーニングでの学習のあとにテストプリントをご提出いただきます。e-ラーニングは、すべてアト本社による英語で行なわれます。

Q デジタルペンシステムの導入には、何が必要ですか？

A まずはシステム開発のために開発ツールをご購入いただけます。弊社よりご提供できる開発ツールは、現在 2 種類 (SDK/Navigator) ございます。それぞれ詳細は製品情報のページをお読み下さい。また商用利用については、ビジネススキーム、手順その他をご説明させていただく必要があります。お手数ですが、お問い合わせフォームにてお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。デジタルペンビジネスのページでも概要をご説明しております。

Q 印刷認定取得に必要な費用について教えて下さい。

A Print Certification Package (オフセット印刷認定パッケージ) を 308,000 円 (税抜) でご提供しています。認定取得のためのプログラムやサポートはすべて英語です。

Q アトデジタルペンを借用できませんか？

A 原則として弊社ではお貸し出しは行っておりません。おそれいりますが、製品情報のページにある評価用キットをお買い求め下さい。アトパートナーの株式会社八光興発アズシエル事業部様でも同様の製品をご提供しています。詳細は <http://lets-pen.azciel.com/> をご覧ください。

Q 文字認識率はどのくらいですか？

A アトデジタルペン自体には文字認識の機能は搭載されておりません。文字認識機能をご利用になりたい場合は、別途、お客様ご自身で文字認識ソフトウェアをご用意いただく必要があります。

Q デジタルペン・用紙の価格は(大よそ)いくらですか？

A 前提条件 (例: ボリューム) によって異なりますので、デジタルペン、紙の価格等については個別に回答させていただきます。

Q 通常の紙に較べてどのくらい割高になりますか？

A 実際にお使いいただくデジタルペン対応帳票は、いずれかのアノパターン印刷認定企業が印刷適合規格取得プリンタによって印刷していただくことになります。費用は印刷企業や印刷方法によっても異なります。(オフセット印刷の場合/プリントオンデマンドの場合) 例えば前者の場合、ドットを印刷する分、一色追加されます。

Q 既存システムへの接続が可能か？

A デジタルペンから送られるデータはすべて専用 API を通じて取得します。現在、この API は Windows XP/ Vista 32bit 用、Java Servlet 用が用意されております。これらを利用できるシステムがあり、データを取得可能であれば既存システムへのインターフェイスを確立することにより接続は可能であると思われまます。

Q 入力のシステムを自社開発出来るか？

A システム開発および帳票作成の開発ツールをご提供できますので、貴社独自のシステムを開発できます。

Q アノデジタルペンの定価は？

A オープン価格です。

Q 維持コストを知りたい。

A パターンライセンスの年間ロイヤリティが別途発生いたします。A4の帳票1ページあたり、およそ10万円となります。

Q サービスプロバイダになりたい。

A サービスプロバイダへ関心をお寄せいただき、ありがとうございます。弊社のデジタルペンビジネスにおけるサービスプロバイダの位置付けは、デジタルペンソリューションビジネスの発展のために、長期的に多分野・多方面にソリューションを開発・提供していただく企業様となります。サービスプロバイダは、両社間の協業が体系的なベースとなるものですので、条件等につきましては別途お話し合いさせていただくことになります。

Q 開発キットと各種 SDK の価格について教えてください。

A 製品情報のページをご覧ください。

Q デジタルペンを使ったソリューション開発および販売を行う場合に、どのような契約が必要になりますか？費用も含めたご説明を頂戴できますでしょうか？

A 契約の種類は、対象企業様のデジタルペンソリューション事業におけるターゲット市場やビジネスモデル等に応じ、複数の種類がございます。費用につきましても、締結していただく契約の種類によって異なります。どの契約が対象企業様にとって最適かを理解するために、弊社と直接お話しさせていただくお時間を頂戴できれば幸いです。

Q 開発キットに関する資料が欲しい。(日本語版はないでしょうか？)

A 製品情報のページをお読み下さい。アノがご提供する Anoto ADK は付属ドキュメント、サポート等すべて英語ですが、Penit Navigator は日本語環境の開発ツールで、サポートも日本語でいたします。その他、サービスプロバイダでも開発キットをご用意しており、日本語によるサポートが行なわれています。

Q 複写紙の利用は可能ですか。

A 可能です。

Q ドットパターンを複写機でコピーして使えますか？

A 使えません。

Q アノパターン印刷適合規格取得プリンタ以外のプリンタで印刷した紙は使えますか。

A 使えません。アノの核心技術とも言える微細なドットパターンの印刷には高品質・高精度が要求されます。規格外のプリンタで印刷すると、デジタルペンに内蔵されたカメラがドットパターンを正確に読み取ることができません。

Q ペンからデータ転送する際のセキュリティ対策はどうなっていますか。

A USB によるデータ転送の場合

- USB によるデータ転送には、ペン専用のドライバーを必要とします。ドライバーのない PC に接続しても、データ転送は行われずペンにデータが残ります。
- データを受け取るアプリケーションが存在しないと、データ転送は行われずペンにデータが残ります。
- ペンにパスワードを設定することができます。ドライバーもアプリケーションも存在している時のデータ転送は、パスワードで制御することができます。パスワードの認証が行われないと、データを転送しません。

Bluetooth におけるデータ転送の場合

- Bluetooth 規格に従いデータの暗号化が行われます。(規格に定められた範囲)
- ペンとデバイスのペアリング時、ペン毎に定めた PIN コードを必要とします。データは正当なデバイスに送られます。

その他、商用利用される場合のセキュリティ対策については別途ご相談下さい。